

■後世に継承・活用・創造したい「本物」

「茶」～茶の文化

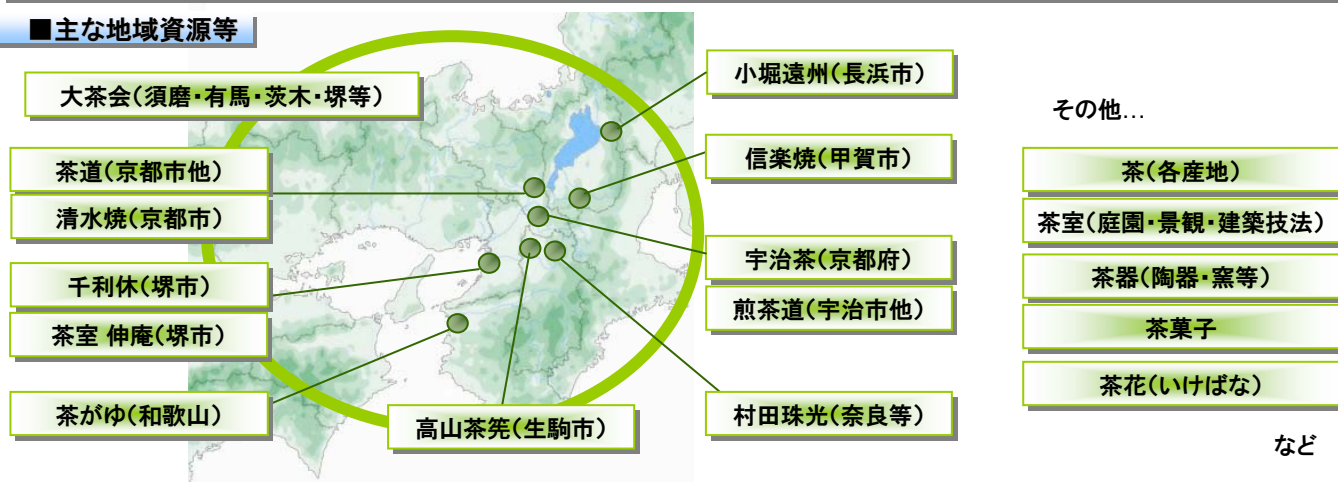
■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

茶は日本国民にとって最も親しまれている食物の一つであり、古くからわが国の生活に深く根ざしている。また、茶を中心にわが国独特のたしなみや作法が蓄積され、茶室や庭園などの建物や空間をはじめ、茶器や茶菓子、茶花など多様な分野に大きな影響を与えつつ、「もてなし」の文化が形成されてきた。その茶の文化の中心がまさに関西であり、もてなしとともに、茶を取り巻く多様な技術・商品・サービスなどを後世に継承し国内外に発信する。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

- ①世界に誇る質の高い茶葉を生産し、②茶を生かした商品・サービスの開発・提供し、
- ③茶の文化を支える茶室、庭園などの建物・空間や、建築技法、茶器・茶菓子・茶花などの文化や技法を継承し、
- ④「茶の文化＝関西」を国内外に発信する

■主な地域資源等



■後世に継承・活用・創造したい「本物」

「水」～水と生きるまち・関西

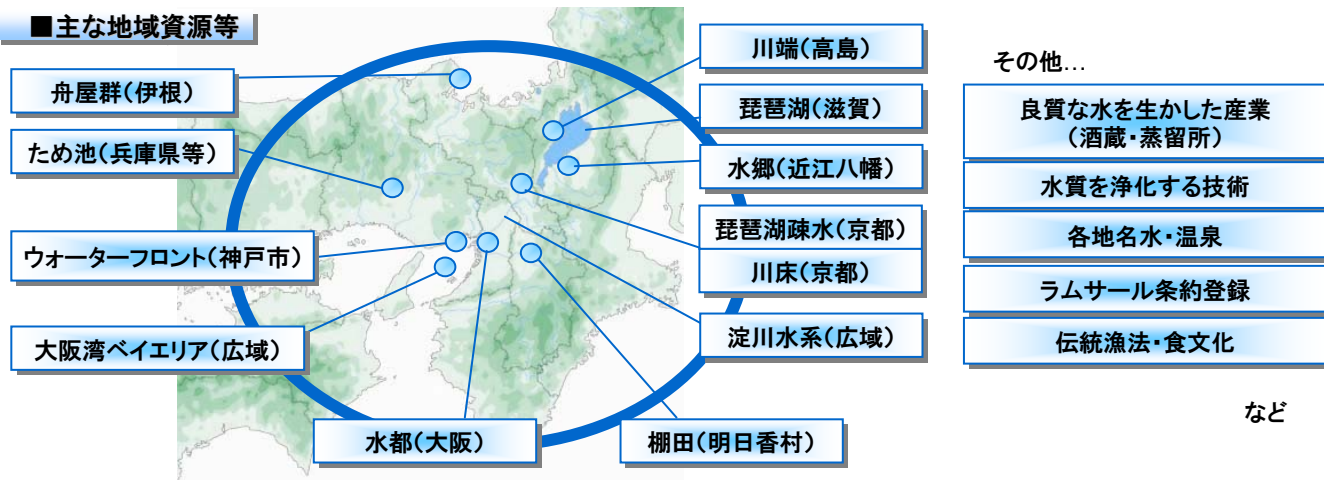
■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

関西は遥か昔から「水」と密接な関わりを持ちながら生活してきた。関西における「水」は、日常生活に欠かせないものであると同時に、神話の場・祈りの対象であったり、重要な舟運の路であったり、電力供給の源、産業の源、豊かな生活のアメニティ、コミュニティの媒体であったり、実に多様な関わりがある。これらの水と生きる経験や知恵を含めて、水と生きるまちの姿を良好なカタチで後世に伝えることが使命である。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

- ①水を良好な状態に保ち(戻し)し、
- ②水と生きる知恵を新たに創造しながら次世代に引き継ぎ、
- ③水と生きるまち・関西の姿を広く発信する

■主な地域資源等



関西のブランド力向上の取組・モデル実施テーマ候補

■後世に継承・活用・創造したい「本物」

「古典」～日本人の心を育んだ関西

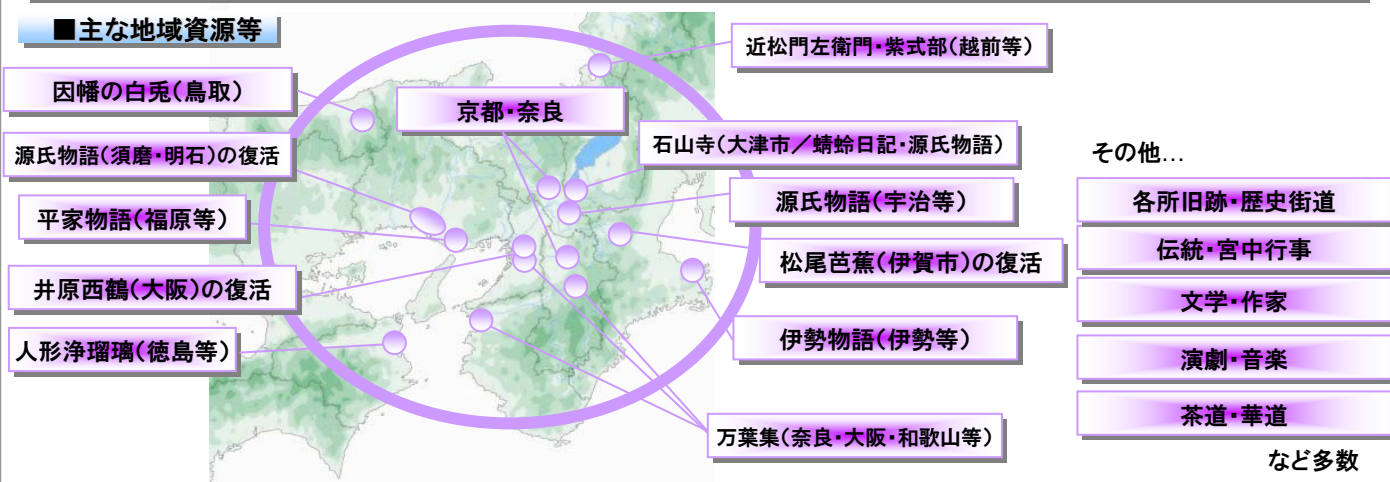
■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

日本文化の源流と言える関西は、古典文学、古典芸能、伝統音楽等の**古典**の宝庫であり、これらの古典は、絵画や工芸などの美術分野はもとより、日本人の美意識や生活習慣にも大きな影響を及ぼしてきた。海外において日本の美意識や精神(もてなしの心等)が評価される一方で、近代化に伴い日本人のこれらの美意識や精神に対する自覚は薄れつつある。このような中、「古典」を通じて広く世界の知性と共鳴しあう新しい文化創造させることは関西の使命と言える。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

- ① 古典自身や古典にまつわる建物や技術・工芸品等を継承し、
- ② 古典を語り継ぐ語り部を育成し、
- ③ 古典の舞台となった地を回るツアーを開発し、
- ④ 古典を題材にした商品・サービス(カフェ等)を開発する。

■主な地域資源等



■後世に継承・活用・創造したい「本物」

世界遺産をはじめとした文化遺産

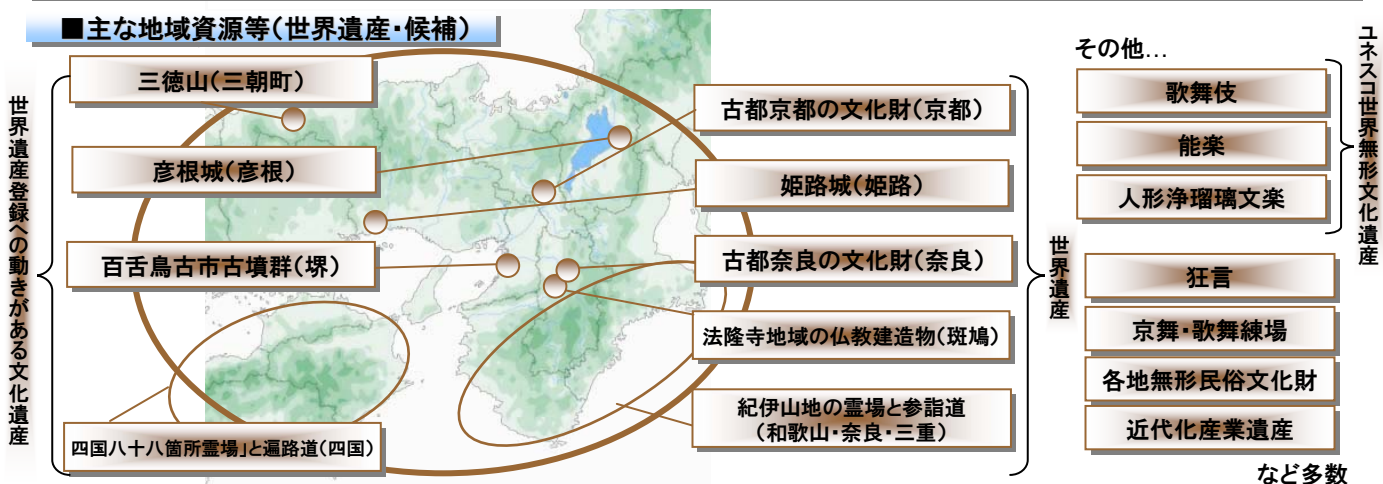
■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

日本の世界遺産14件のうち5件が関西と、国内の**世界遺産**の多くを関西が有している。また、**世界無形文化遺産**として登録された「人形浄瑠璃文楽」「能楽」「歌舞伎」についても、その発祥は関西である。古くから海外と盛んな文化交流を行ってきた関西は、海外の文化の影響を受けながらも独自の文化、伝統様式を築いてきた。こうした有形・無形の**文化遺産**を通じて、日本文化の魅力を国内外に向けて発信することは関西の使命と言える。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

- ① 文化遺産を継承すると共に、文化遺産を活かすまちづくりを進め、
- ② 文化遺産を保存・修復する職人を育成し、
- ③ テーマごとに文化遺産を巡るツアーを開発し、
- ④ 文化遺産に関連するグッズやサービスを開発する。

■主な地域資源等(世界遺産・候補)



関西のブランド力向上の取組・モデル実施テーマ候補

■後世に継承・活用・創造したい「本物」

「酒」～酒にまつわる日本文化

■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

関西には灘、伏見という酒の二大生産地を抱えており、両地域のある兵庫県、京都府の日本酒出荷量は全国の約半分を占めている。他にも“酒のふるさと”と呼ばれる奈良をはじめ、古くから酒の町として栄えた町も多い。また酒米である山田錦の生産(播州平野他)や杜氏の技術(丹波・丹後)など酒にまつわる「本物」の文化が今も数多く息づいている。奈良や京都には酒の神様を祀る神社も多く、醸造家の信仰とも深く結びついている。日本酒を造る地域は多く存在するが、“酒”のルーツは関西にあると言って過言ではないことから、酒の文化を関西から国内外に向け発信する。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

- ①酒米の生産を支援し、水を良好な状態に保ち(戻し)、
- ②酒蔵等を活かしたまちづくりを進め、
- ③杜氏や酒器職人を育成し、
- ④名醸造を巡るツアーを開発し、
- ⑤新たな酒や酒を活かした料理等を開発・提供する。

■主な地域資源等

